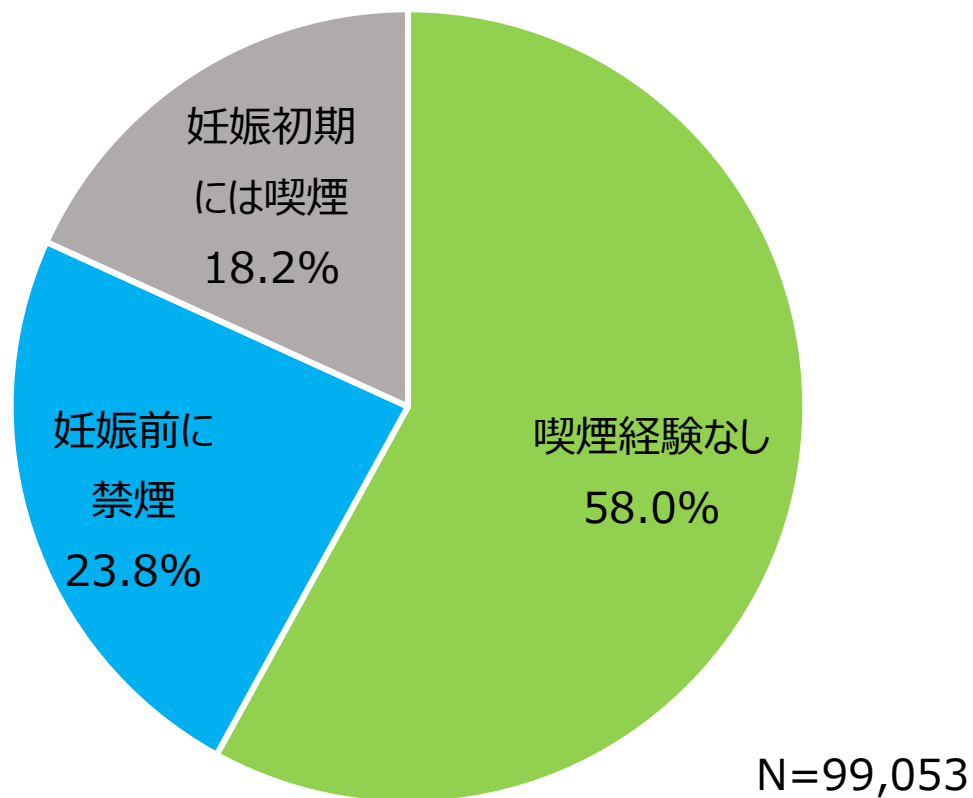


パネルディスカッション

妊娠・出産をみんなで支えよう！

調査結果 ①

母親の喫煙習慣

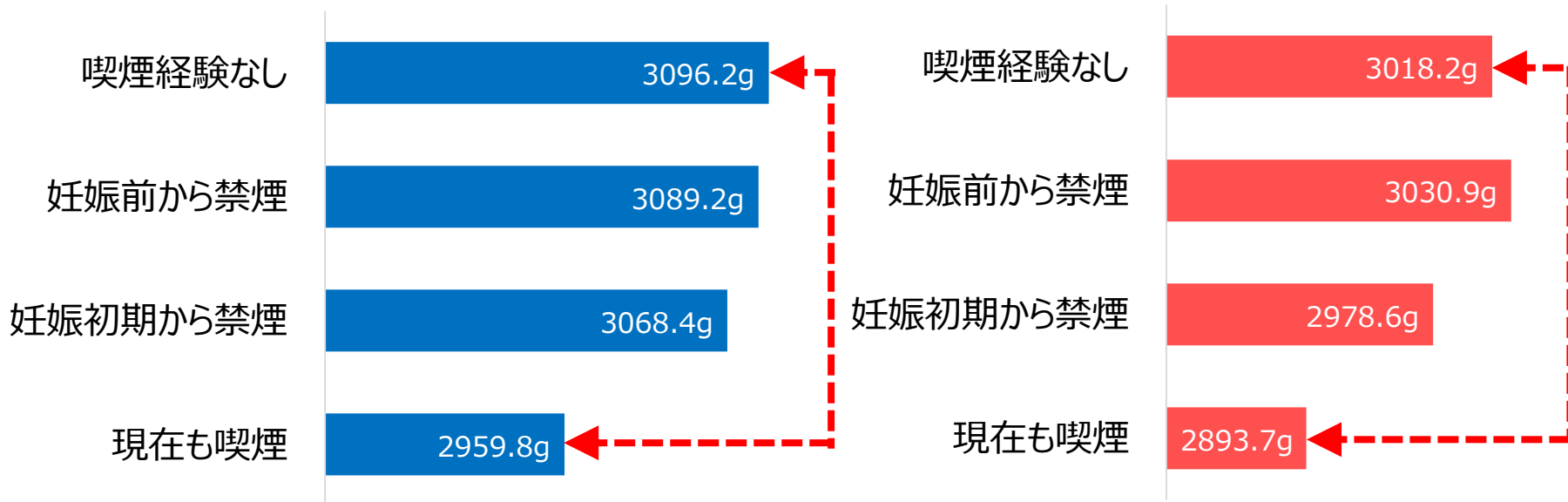


調査結果 ②

母親の喫煙習慣と出生体重※の関係

男児

女児



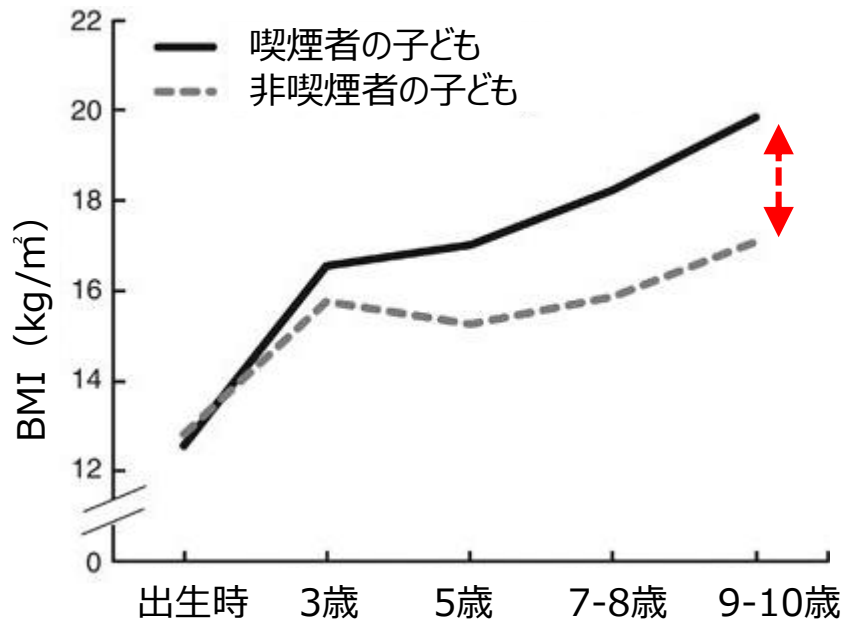
N=9,369

※出生体重は、最小2乗法により共変量(父親の喫煙状況、世帯収入、出生順位、妊娠高血圧症候群、糖尿病/妊娠糖尿病、母親の妊娠前体重・妊娠中の体重増加・出産時の年齢、および妊娠期間)の調整を行い、推定。

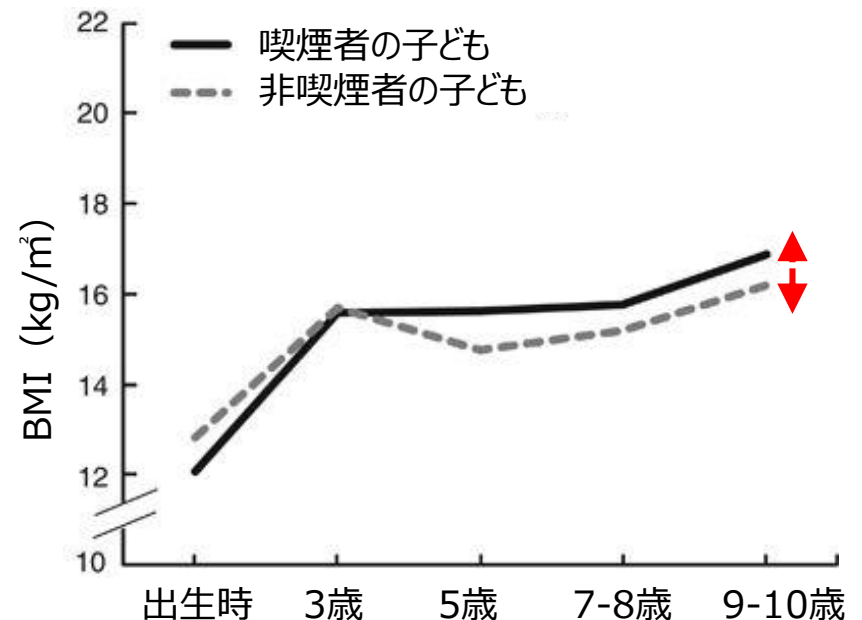
調査結果 ② の 補足説明

妊娠初期の喫煙の有無による、出生児のBMIの軌跡

男児



女児



N=1,619

山梨県甲州市で1991年4月から1999年3月までに出生した1,619人を対象に、マルチレベル分析の結果から、それぞれの時点におけるBMIを推定

Suzuki K et al. "The Association between Maternal Smoking during Pregnancy and Childhood Obesity Persists to the Age of 9–10 Years" International Journal of Obesity.2011

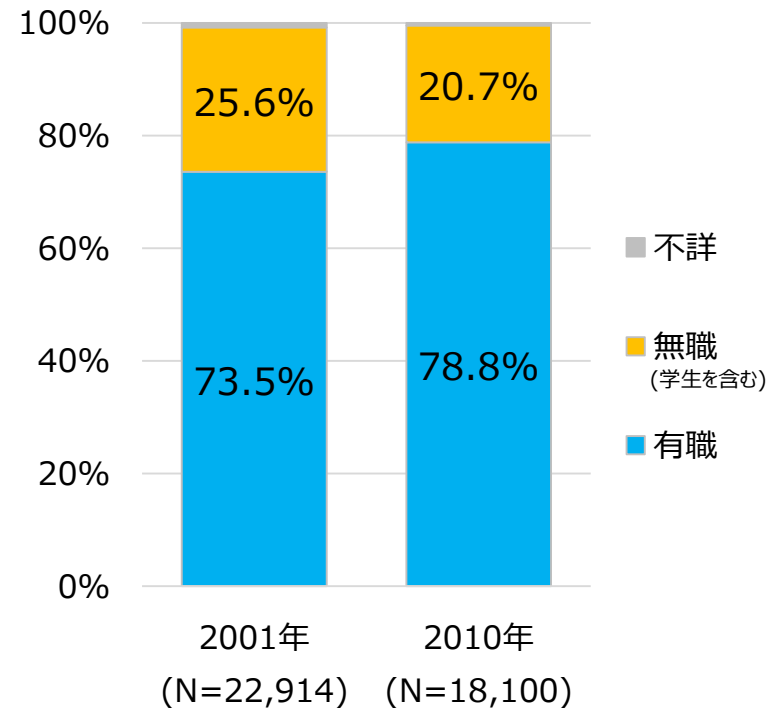
調査結果 ③

妊娠初期の職業

管理	0.6%
専門・技術	22.3%
事務	16.8%
販売	5.9%
サービス	15.9%
保安	0.2%
農業、林業、漁業	0.5%
生産工程	3.4%
輸送・機械運転	0.2%
建設・採掘	0.1%
運搬・清掃・包装など	0.7%
主婦	28.8%
その他 (学生、無職、上記に分類されない職業)	4.7%

N=97,935

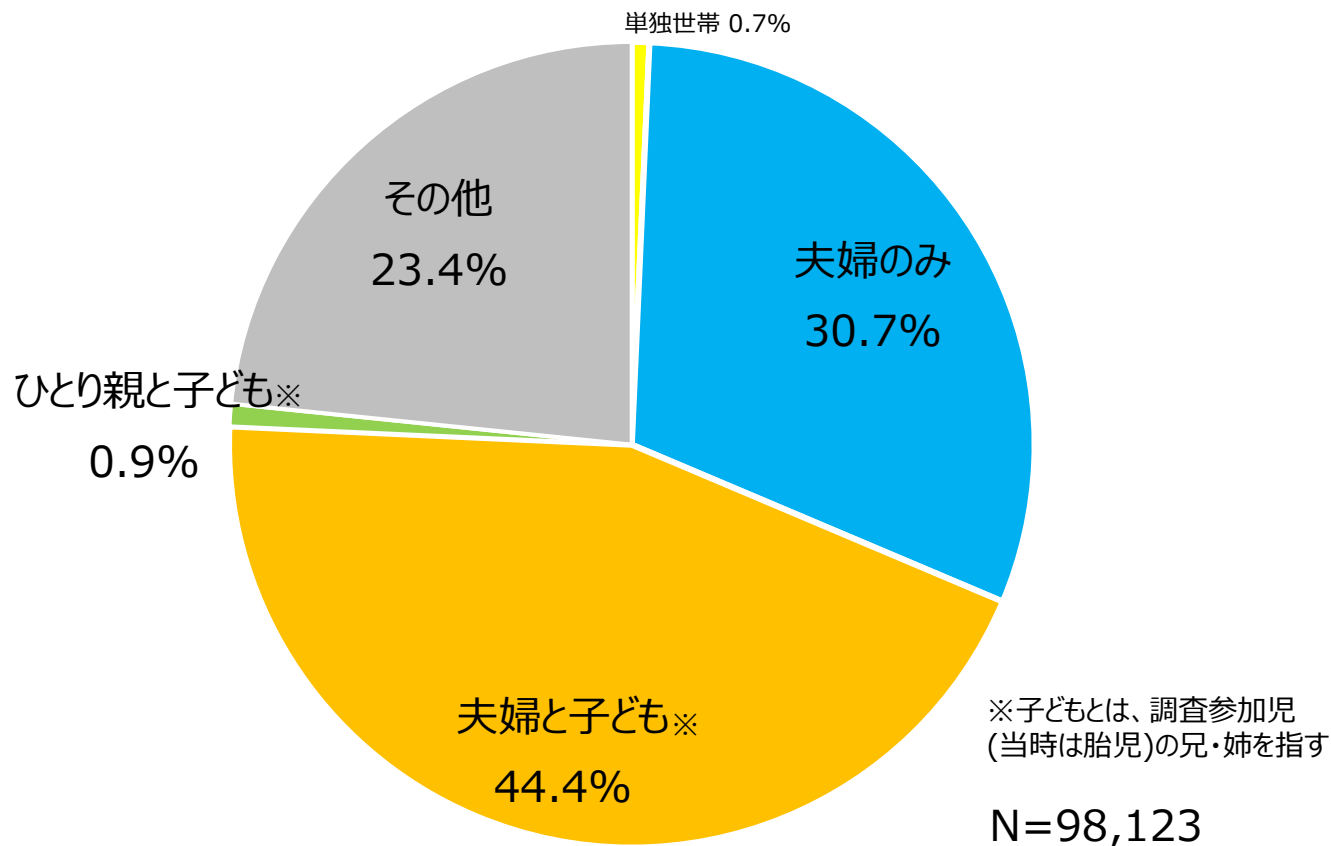
【参考データ】 21世紀出生児縦断調査 出産一年前の就業状況



厚生労働省 21世紀出生児縦断調査
(平成13年出生児)(平成22年出生児)

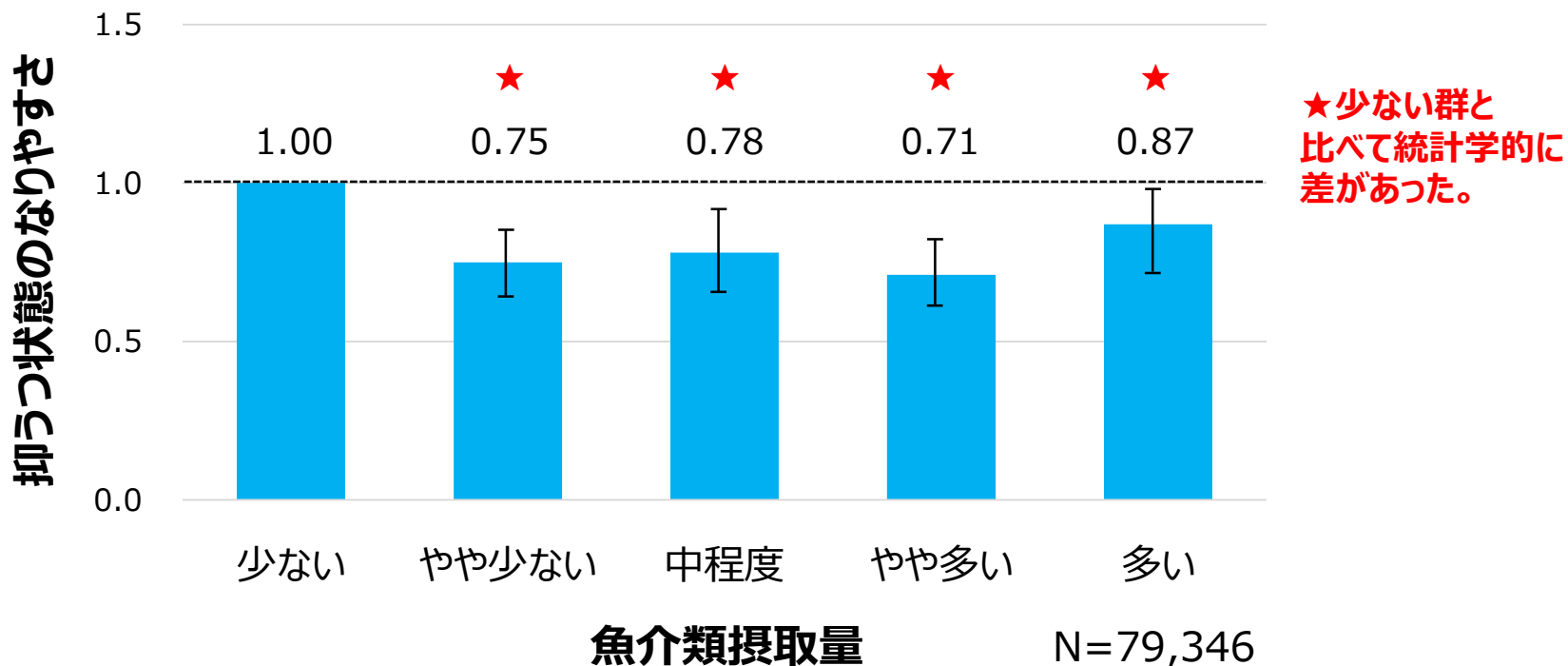
調査結果 ④

妊娠時の家族構成



調査結果 ⑤

妊娠中後期での魚食と抑うつとの関連



魚食の量の「少ない」群と比較して「やや少ない」、「中程度」、「やや多い」、「多い」群で「抑うつ状態に」なりにくかった。

下記の14個の因子で補正

年齢、カロリー、出産歴、出産前BMI、教育歴、世帯収入、婚姻状況、アルコール摂取状況、喫煙状況、つわりの有無、身体活動強度、不安障害の既往、うつ病の既往、就労の有無